

2018年6月30日

第15期（2017年4月1日から2018年3月31日まで）

貸借対照表及び個別注記表

株式会社 阪急クオリティーサポート

貸借対照表

(2018年3月31日現在)

(単位：千円)

科 目	金 額	科 目	金 額
(資 産 の 部)	393,198	(負 債 の 部)	119,830
流 動 資 産	344,792	流 動 負 債	96,747
現金及び預金	2,533	未払金	25,013
売掛金	41,202	未払費用	20,969
貯蔵品	1,369	未払事業所税	275
前払費用	7,662	未払法人税等	13,206
繰延税金資産	11,373	未払消費税等	10,570
短期貸付金	280,092	前受金	62
その他の資産	621	預り金	1,095
貸倒引当金	△64	賞与引当金	23,392
		役員賞与引当金	2,160
		その他流動負債	2
固 定 資 産	48,406	固 定 負 債	23,083
有形固定資産	27,298	退職給付引当金	20,575
建物附属設備	19,282	役員退職慰労引当金	2,508
器具及び備品	8,015		
無形固定資産	10,782	(純 資 産 の 部)	273,367
ソフトウェア	9,942	株 主 資 本	273,367
ソフトウェア仮勘定	840	資 本 金	10,000
		利 益 剰 余 金	263,367
投資その他の資産	10,325	利 益 準 備 金	2,500
差入保証金	2,074	その他利益剰余金	260,867
繰延税金資産	8,250	繰越利益剰余金	260,867
合 計	393,198	合 計	393,198

個別注記表

重要な会計方針に係る事項に関する注記

1. 記載金額は、千円未満を切り捨てて表示しております。

2. 資産の評価基準及び評価方法

たな卸資産の評価基準及び評価方法

通常の販売目的で保有するたな卸資産
評価基準は原価法（収益性の低下による簿価切下げの方法）によっております。

貯蔵品	最終仕入原価法
-----	---------

3. 固定資産の減価償却の方法

有形固定資産	定額法
--------	-----

無形固定資産	定額法
--------	-----

4. 引当金の計上基準

貸倒引当金	売上債権等の貸倒れによる損失に備えるため、一般債権につきましては、貸倒実績率を使用し、貸倒懸念債権等特定の債権につきましては、個別に回収可能性を検討し、回収不能見込額を計上しております。
-------	---

賞与引当金	従業員に対する賞与の支給に備えるため、支給見込額に基づき計上しております。
-------	---------------------------------------

役員賞与引当金	役員賞与の支給に備えるため、支給見込額に基づき計上しております。
---------	----------------------------------

退職給付引当金	従業員の退職給付に備えるため、当社退職金支給規程に基づき、自己都合による期末退職金要支給額を計上しております。
---------	---

役員退職慰労引当金	役員の退職慰労金の支給に充てるため、内規に基づく期末要支給額を計上しております。
-----------	--

5. その他計算書類の作成のための基本となる重要な事項

消費税等の会計処理	消費税及び地方消費税の会計処理は、税抜方式によっております。ただし、控除対象外消費税等は、発生事業年度の費用として処理しております。
-----------	--

当期純損益金額

当期純利益	59,561千円
-------	----------